

ヒロハススキゴケ

Dicranella palustris (Dicks.) Crundw. ex Warb.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… —

■ 県内分布

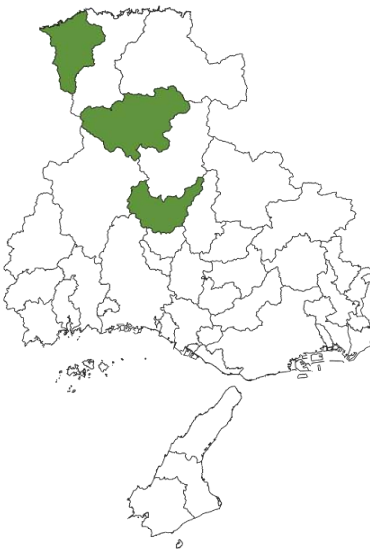
神河町、養父市、新温泉町

■ 国内分布

北海道、本州、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

■ 保護上の留意点

■ 種の概要

やや大型でやわらかい感じの蘚で、茎は長さ4-6cm、藁状に葉をつける。葉は幅広い鞘部から披針形から線状披針形に伸び、長さ3-4.5mm、先端は鈍頭で規則的に背方に反り返る。葉縁の歯は目立たない。中肋は細くて葉先近くに達する。葉身中部の細胞は長い矩形から六角形で、長さ85-110μm、幅8-10μm。蒴柄は赤く、長さ15-22mm、蒴はやや曲がる。口環は分化しない。蓋は長い円錐形。胞子は直径13-18μm。水際や推進の浅い場所等、よく湿った地上に生育する。